

平成27年度 第4回 中部森林管理局 国有林材供給調整検討委員会  
( 概 要 )

1 開催日時

平成28年3月9日(水) 13時30分～15時30分

2 開催場所

中部森林管理局 局長応接室

3 検討内容

- (1) 国有林材供給調整対策について
- (2) 情報交換等
- (3) その他

4 検討結果

価格解析結果では一部の販売ブロックにおいて木材価格が「定常範囲を逸脱する動き」を確認したものの、各委員からの意見等を総合的に勘案した結果、現時点において国有林材の供給調整を実施する「必要性はない」と判断する。

5 委員意見等

- ・ 現在ほどこの製材工場もリスクを少なくするため、あまり在庫を持たない。一番心配なのは急な需要に対応しきれないこと。
- ・ 2月末から原木の在庫量はガクッと減ってきている。今年は雪が少なく一気に出材されたため、今になってストップしてしまった。
- ・ 今年は雪が少なく生産が順調だったので、逆に次年度が始まるまで間隔が空いてしまう。それまでの在庫に不安。
- ・ 消費税増税の駆け込み需要についても準備してるので、逆に消費税を上げてもらわなければ困る。
- ・ 建築様式が変わったことから通し柱が、以前と比べると3分の1くらいに減った。それが原因で価格が上がらない。
- ・ 価格が上がらなければ、民材はでてこない。大規模工場では40cm上はいらないから、元木の1番いいところの値段が安い。
- ・ 消費税増税は消費者も前回経験してるし、2%ぐらいの増税は需要にそれほど影響しないのではないかと正直読めない。
- ・ 電気料が上がってきているのが問題。製品価格に転嫁できない。
- ・ 森林認証は悪いことではないが、オリンピックをきっかけにするのが問題。日本が森林認証について遅れているのは確かだが、マーケットがそうならないと普及は無理。オリンピックが終わったら、もういいという話なら意味がない。